



大雪が降って、テラスで雪の感触遊びをしたり、雪玉を作って園庭に向かって投げたりと季節ならではの自然の遊びも楽しむことができました。寒暖差の激しい日々が続いていますが、体調など崩されていませんか？今月は3月ということで、ひな祭りの製作を紹介します。

honmura hoikuen



うさぎ組(2歳児クラス)



うさぎ組では、簡単にはさみで切った色紙を、のりを使って着物に貼ってみました。ホールに飾られている雛人形のことを思い出しながら「これこないだ見たよね！」「同じの作ってるんだ」と製作を楽しんでいました。



さる組(3歳児クラス)



さる組の製作の特徴は、着物を色水で染めたところです。お内裏様とお雛様でそれぞれ2色ずつ色水を使い、子どもたちが自分たちの加減で色を調整しました。「色が変わってきたよ！」「綺麗な色になったね！」と色が変わっていく様子をじっと見ていました。



ぱんだ組(4歳児クラス)



ぱんだ組では、お花紙で作った花をお内裏様とお雛様の着物にしてみました。それぞれ自分の好きな色を選んでいて、とてもカラフルな雛人形たちが部屋の前を彩っています。2月の鬼の製作の時は紙を丸めていましたが、指先が器用になってきたこともあり1枚ずつ丁寧に真剣な眼差しで折られたお花紙を外側から開いていました。



ほんむら



保育園では、毎年雛人形を飾っています。「きれいだね～」「この人は何の人なの？」「うちにもある！」とうれしそうな声が聞こえてきます。年長クラスの子どもたちが『うれしいひなまつり』の歌に合わせて、年下の子に雛人形の説明している姿も見られました。